

第3次農林水産業元気再生戦略 目標指標の達成状況一覧(令和2年9月末現在)

【達成率集計:H30年】

	H30年			75.7%
	項目数	割合	判明分	
達成	64	46.4%	47.0%	75.7%
概ね達成	39	28.3%	28.7%	
遅れ・未達成	33	23.9%	24.3%	
計	136	98.6%		
未公表等	2	1.4%		

【達成率集計:R1年】

	R1年			73.7%
	項目数	割合	判明分	
達成	45	32.6%	47.4%	73.7%
概ね達成	25	18.1%	26.3%	
遅れ・未達成	25	18.1%	26.3%	
計	95	68.8%		
未公表等	43	31.2%		

《達成度》
 達成(100%~) : 
 概ね達成(80~100%、かつ、策定時より上昇・改善) : 
 遅れ・未達成(80%未満、又は、策定時より低下・悪化) : 

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
基本戦略1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現															
1	生産農業所得	億円	851	H26	1,050	1,080	103%	達成	1,080	未公表	—	—	1,100	R2	農業産出額(米、園芸、畜産等)は、各分野とも概ね目標達成見込みであり、物的経費に大幅な変動がないことから、目標は概ね達成の見込み。
2	新規就農者数(4年間の累計)	人	1,095	H24~27	680	653	96%	概ね達成	1,040	1,001	96%	概ね達成	1,400	H29~R2	新規就農者の確保・育成のため、短期農業体験やワンストップ相談窓口による各種相談の対応など動機付けから就農までのきめ細かな支援を行い、新規就農者は1,001人(H29~R1年度累計)となり、目標は概ね達成。
①人材の育成・確保															
3	女性農業士数(指導農業士+青年農業士)	人	34	H27	50	52	104%	達成	55	53	96%	概ね達成	60	R2	アグリウーマン塾を開催し、女性農業者の経営力向上を支援するとともに、各地域においても研修のフォローアップを行い地域農業のリーダーとなる女性農業者の育成を図り、目標は概ね達成。
4	農業協同組合の役員に占める女性の割合	%	7	H28	11	8.2	75%	遅れ・未達成	13	8.8	68%	遅れ・未達成	15	R2	各種会議や農協との対話等の機会を活用し、女性役員候補となる農業者の育成を働きかけたが、役員になることで負担が大きくなることや、家族の理解が得られないなどの理由から、目標は未達成。
5	山形県農業労働力確保対策推進協議会の設置	—	—	H27	—	—	—	達成	—	—	—	達成	設置	H29	平成29年度「山形県農業労働力確保等対策推進協議会」と2つのワーキングチームを設置し、目標をは達成。令和元年度は関係機関等が連携し、JAの無料職業紹介所やJAグループの求人サイトを活用したマッチングを実施。
6	無料職業紹介所設置JA数	JA	8	H27	11	10	91%	概ね達成	13	10	77%	遅れ・未達成	15	R2	「山形県農業労働力確保対策実施協議会」の取組みの一環として、県内JAへの無料職業紹介所の設置を推進し、令和元年度までの設置は10か所にとどまり、目標は未達成であるが、引き続き設置に向けた働きかけを実施。
7	さくらんぼ主産地JA独自の労働力確保システム構築数	JA	1	H27	3	4	133%	達成	4	5	125%	達成	6	R2	さくらんぼ主産地5地域において、JA無料職業紹介所が開設され、独自の労働力確保システムが構築されていることから、目標は達成。
8	農業分野で障がい者就労に取り組む福祉施設の割合	%	15	H27	22	19.4	88%	概ね達成	26	27	104%	達成	30	R2	障がい者施設職員、利用者を対象とした「農業体験会」の開催や県内各地域でのセミナーの開催、また、障がい者施設に農業の専門家を派遣するなどの取組みにより、目標を達成。
②経営体育成支援															
9	トップランナー数	経営体	957	H27	—	—	—	—	—	—	—	—	2,000	R2	—
10	スーパートップランナー数 ※トップランナーの内数	経営体	128	H27	—	—	—	—	—	—	—	—	260	R2	—
11	販売金額1,000万円以上の家族経営体数	経営体	2,351	H27	3,300	3,100	94%	概ね達成	3,500	3,200	91%	概ね達成	3,500	R2	経営発展に意欲的な経営体を対象にオーダーメイド型の支援等や、ビジネスプラン策定に向けた専門家アドバイザー派遣、高度な経営を学ぶ「やまがた農業経営塾」の開催等、農業者の経営の発展と経営力の向上の支援により、目標は概ね達成。
12	販売金額3,000万円以上の組織経営体数	経営体	199	H27	450	484	108%	達成	500	515	103%	達成	550	R2	経営発展に意欲的な経営体を対象にオーダーメイド型の支援等や、ビジネスプラン策定に向けた専門家アドバイザー派遣、高度な経営を学ぶ「やまがた農業経営塾」の開催等、農業者の経営の発展と経営力の向上の支援により、目標は達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
13	農業法人数(認定農業者)	法人	401	H27	610	515	84%	概ね達成	700	未公表	—	—	800	R2	認定農業者の認定促進に向け、山形県認定農業者協議会と連携し、農業経営改善の研修や認定農業者の相互交流等の取組みを行ってきたことなどにより、農業法人(認定農業者)の数は順調に伸びており、目標は概ね達成の見込み。
14	山形県認定農業者協議会の設置	—	—	—	—	—	—	達成	—	—	—	—	設置	H29	平成29年に山形県認定農業者協議会を設置し、目標は達成。令和元年度は円滑な事業推進に向けた支援や経営発展に向けた研修会の開催を支援し、自立的な運営を展開。
15	全国農業担い手サミットの開催	—	—	—	開催	開催	100%	達成	—	—	—	—	開催	H30	平成30年に全国農業担い手サミットを盛大に開催し、目標は達成。本県農業者の活躍を全国に発信するとともに、担い手同士の交流、研修を実施。
16	担い手への農地集積率	%	60.2	H27	70.0	66.0	94%	概ね達成	74.0	66.4	90%	—	概ね達成	R2	令和元年度に「山形県農地集積・集約化推進会議」、県内4地域に「地域支援チーム」を設置し、市町村の抱える課題、進捗状況の共有を図るなど、人・農地プランの実質化を契機とした農地集積・集約化に向けた取組みを推進し、目標は概ね達成。
17	農地中間管理機構を活用した新規集積面積(累計)	ha	2,146	H27	4,490	4,454	99%	概ね達成	5,270	5,372	102%	—	達成	R2	農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化について、新聞広告や全農家へのチラシ配布等により、周知を促進するとともに、山形県農地集積・集約化大会を開催し、県内の優良事例を紹介することなどにより、農地の集積・集約を進め、目標は達成。
18	県農業情報サイト「あぐりん」への訪問者数	件	645,000	H27	1,300,000	1,359,049	105%	達成	1,350,000	1,433,647	106%	—	達成	R2	「やまがたアグリネット」の利用について、ラジオ「農業一ロモモ」、農家全戸配布の「普及だより」、農業高校での出前授業等により紹介するとともに、各作物ごとにタイムリーな情報の掲載や、あぐりんFacebookでも情報発信に取り組み、目標は達成。
19	収入保険制度の加入の前提となる青色申告承認者数	人	9,643	H27	11,300	10,676	94%	概ね達成	12,150	10,685	88%	—	概ね達成	R2	加入の前提となる青色申告承認者数を増やすため、青色申告研修会を開催するとともに、青色申告を行おうと考えている農業者等を対象とした税理士による青色申告個別相談会を実施し、目標は概ね達成。
20	県内における「スマート農業」の取組件数(累計)	件	23	H29	30	42	140%	達成	60	77	128%	—	達成	R2	特に畜産における分娩監視でのスマート技術の利便性が共有されて技術導入が進み、目標は達成。
③地域活性化															
21	中山間地域の農地保全取組面積	ha	7,853	H27	8,121	8,318	102%	達成	8,211	8,516	104%	—	達成	R2	ラジコン草刈り機による草刈省力化研修会の開催や、活動の継続に向けて有効な手法となる集落協定の広域化に取り組む組織との意見交換を実施し、目標は達成。
22	中山間地域における農地中間管理機構を活用した新たな貸付面積	ha	573	H27	580	581	100%	達成	580	516	89%	—	概ね達成	R2	平成26年度から始まった農地中間管理事業の制度下においては、前倒して貸し付け面積が増えたこと(H29～R1累計面積:1,765ha)により令和元年度は現状値より下回る結果となっているが、年度目標値に対する達成率は89%と概ね達成。
23	県の支援により活力ある地域づくりの実践に取り組む件数(H26からの累計)	件	7	H27	19	16	84%	概ね達成	23	24	104%	—	達成	R2	元気な地域づくり支援プロジェクトによるケーススタディ(7地区)の実施や地域づくりワークショップ(8地区)を開催し、地域の合意形成や計画づくり、計画に基づく目標の具現化の支援により、目標は達成。
24	鳥獣による農作物被害金額	百万円	581	H27	520	510	102%	達成	490	464 【速報値】	106%	—	達成	R2	侵入防止柵の設置、パトロール、追い払い及び捕獲等への支援、また、地域住民が主体となった鳥獣被害対策を実施できるよう市町村と連携した取り組みを行い、被害対策の普及により目標を達成。
25	小水力発電出力の合計(H29～32の累計)	kW	1,400	H28	1,640	1,648	100%	達成	1,670	1,648	99%	—	概ね達成	R2	民間発電事業者による農業水利施設を活用した小水力発電施設の導入を促進するため、施設整備に関する関係機関との調整等、民間発電事業者と施設を管理する土地改良区に対するマッチング支援を行い、目標は概ね達成の見込み。
26	温泉熱活用事例数(累計)	件	3	H28	3	4	133%	達成	3	4	133%	—	達成	R2	関係課と連携して事業化の検討を進めている団体に対して情報提供等の実施により、目標は達成。
27	木質バイオマス供給量	千t	34	H27	100	120	120%	達成	104	201	193%	—	達成	R2	木質バイオマス利用施設1施設の整備について支援するとともに、木質バイオマス施設用低質材(C・D材)の搬出に対する支援を実施し、目標は達成。
基本戦略2 水田農業の収益性の向上															
28	米による産出額	億円	668	H26	850	835	98%	概ね達成	930	未公表	—	—	930	R2	高品質・良食味米の安定生産を推進しながら、関係機関と連携した県産米の評価向上と販売・PR活動を展開することで、目標は概ね達成の見込み。
①土地利用型作物															
29	「つや姫」の価格ポジション	—	魚沼産コシヒカリに次ぐ	H28	魚沼産コシヒカリに次ぐ	魚沼産コシヒカリに次ぐ	(達成)	達成	魚沼産コシヒカリに次ぐ	魚沼産コシヒカリに次ぐ	(達成)	—	達成	R2	高品質・良食味米の安定生産を図りながら、三大都市圏での高級感のあるテレビCMの放映や飲食店と連携したキャンペーン等、トップブランド米としての評価確立に向けた販促・PR活動を展開することで、目標は達成。
30	「雪若丸」の作付面積	ha	10 (試験栽培)	H28	1,700	1,709	101%	達成	2,700	2,704	100%	—	達成	R2	高品質・良食味米の生産と適正な収量の確保を推進するとともに、テレビCMの制作・放映、テレビCMと一体的なプロモーションの展開により県内外での認知度向上を行い、販売動向を見極めた作付け誘導を実施し、目標は達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
31	県農業再生協議会で設定した「生産の目安」達成率	%	100	H28	100	100	100.0%	達成	100	100	100.0%	達成	100	R2	「需要に応じた米生産に関するWG会議」等で各地域農業再生協議会や関係機関、外部有識者の意見を参考に「生産の目安」を決定するとともに、各地域農業再生協議会及び関係機関が協力して「生産の目安」に沿った米の生産を推進し、目標は達成。
32	大豆の収穫量	t	7,560	H27	7,800	6,410	82%	遅れ・未達成	7,900	7,230	92%	遅れ・未達成	8,000	R2	県内8か所に収量・品質向上のための実証ほを設置するとともに、「大豆だより」等の技術情報の提供等に取り組んだが、作付面積の減少等もあり目標は未達成。
33	新品種(「里のほほえみ」「シュウリュウ」)の作付面積	ha	1,817	H27	3,000	2,837	95%	概ね達成	3,500	2,654	76%	遅れ・未達成	4,100	R2	県内8か所に展示ほを設置しながら作付拡大を推進してきたが、依然として実需者の既存品種に対するニーズ等もあり品種の転換が遅れており、目標は未達成。
34	そばの収穫量	t	1,620	H27	2,100	1,610	77%	遅れ・未達成	2,150	2,520	117%	達成	2,200	R2	県内8か所に高収量・高品質安定化対策実証ほを設置しながら技術指導を行い、目標は達成。
②生産基盤															
35	担い手の米の生産コスト(基盤整備実施地区)	億円/年	22	H27	18	16	113%	達成	15	15	100%	達成	13	R2	生産コスト削減に向けた効率的な営農を可能とするほ場の大区画化区や排水路の地中管路化などの基盤整備を実施し、目標は達成。
36	大区画ほ場整備面積(累計)	ha	3,160	H27	3,660	3,560	97%	概ね達成	3,830	3,750	98%	概ね達成	4,000	R2	令和元年度に実施した基盤整備事業において、約50%の面積について大区画ほ場で整備したことから、目標は概ね達成。
37	水稻直播栽培面積	ha	2,360	H28	3,200	2,695	84%	概ね達成	3,400	2,732	80%	概ね達成	3,500	R2	県内14か所に実証展示ほを設置するとともに、「直播栽培マニュアル」を作成し、これに基づく普及拡大を図り、目標は概ね達成したが、さらなる拡大が必要。
38	基幹水利施設における保全計画策定か所数	か所	330	H28	359	375	104%	達成	393	416	106%	達成	418	R2	基幹的農業水利施設の保全計画を策定、計画に基づき適時・適切な補修・更新の実施により、目標は達成。
基本戦略3「園芸大国やまがた」の実現															
39	園芸作物による産出額	億円	1,090	H26	1,240	1,269	102%	達成	1,270	未公表	—	—	1,300	R2	果樹の生産量・単価とも概ね前年並、野菜の単価は前年を下回ったものの生産量は前年よりやや多かったことから、目標は概ね達成の見込み。
40	果樹産出額	億円	656	H26	700	723	103%	達成	705	未公表	—	—	710	R2	さくらんぼは減収したものの他品目では、生産量は前年並～やや増であり、単価は概ね前年並であったことから、目標達成の見込み。
41	野菜産出額	億円	364	H26	457	477	104%	達成	478	未公表	—	—	500	R2	単価は高値だった昨年よりもやや下回った品目が多かったが、生産量が多く、目標は達成の見込み。
42	花き産出額	億円	70	H26	83	69	83%	遅れ・未達成	87	未公表	—	—	90	R2	切花の出荷量は昨年よりもやや多く、単価は昨年並みであったことから、目標は概ね達成の見込み。
①果樹															
43	さくらんぼ収穫量	t	13,200	H27	14,100	14,200	101%	達成	14,200	11,900	84%	遅れ・未達成	14,300	R2	開花期の天候不順により結実数がやや少なく、5月中の高温により全般に小玉傾向となったことに加え、露地さくらんぼ園では6月上旬の降雹被害、降雨日の連続による裂果の発生などにより収量が伸びず、目標は未達成。
44	さくらんぼ産出額	億円	332	H26	342	374	109%	達成	343	未公表	—	—	345	R2	収穫量は少なかったものの、プロジェクトで取り組む高品質生産・厳選出荷の取組みが定着してきており、単価が前年を大きく上回ったことから、目標は達成の見込み。
45	さくらんぼ大玉品種の開発	—	—	—	—	—	—	概ね達成	1品種登録	1品種登録	100%	達成	1品種登録	R1	さくらんぼ大玉品種「山形C12号」は、平成29年9月に「やまがた紅王」として品種登録出願し、令和2年3月に品種登録されたため、目標は達成。
46	西洋なし産出額	億円	50	H26	58	56	97%	概ね達成	59	未公表	—	—	60	R2	単価は前年並であったものの、プロジェクトにおける高品質安定生産の取組み等により収穫量が前年を上回ったことから、目標は概ね達成の見込み。
47	「ラ・フランス」単価	円/kg	311	H27	325	335	103%	達成	330	321	97%	概ね達成	340	R2	プロジェクトで取り組む「販売開始基準日」の設定や食味重視の生産・出荷の推進等により、消費地をはじめとした市場での評価や消費者からの認知度等が高まってきており、目標は概ね達成。
48	りんご産出額	億円	114	H26	118	98	83%	遅れ・未達成	119	未公表	—	—	120	R2	プロジェクトの取組み等により果実品質が良好で単価が前年並であったものの、黒星病の発生や降雹被害等により、収穫量が前年を下回ったため、目標は未達成の見込み。
49	一元販売品種数	品種	2	H27	4	2	50%	遅れ・未達成	4	2	50%	遅れ・未達成	4	R2	品種数が多い中生品種の絞込み等オール山形での取組みに向けた検討会を開催したものの、一元販売品種は「ファーストレディ」及び「秋陽」の2品種にとどまったため、目標は未達成の見込み。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
50	ぶどう産出額	億円	91	H26	113	118	104%	達成	114	未公表	—	—	115	R2	収穫量は前年並であったものの、「シャインマスカット」等の高値で販売できる品目の出荷が増え、単価が前年を上回ったことから、目標は達成の見込み。
51	「シャインマスカット」栽培面積	ha	87	H26	130	未公表	#VALUE!	達成	140	未公表	—	—	150	R2	シャインマスカットプロジェクト会議により、栽培経験の浅い生産者向けの技術指導を強化しながら、更なる面積の拡大を推進しており、目標達成の見込み(H29栽培面積は154.9ha。特産果樹生産動態等調査)。
52	もも産出額	億円	26	H26	32	31	97%	概ね達成	33	未公表	—	—	34	R2	単価は前年並であったものの、プロジェクトで取り組む立枯れ対策技術の定着等により収穫量が前年を大きく上回ったことから、目標は達成の見込み。
53	もも立枯れ発生割合	%	15	H27	9%以内	10.8	83%	概ね達成	7%以内	未公表	—	—	5%以内	R2	立枯れ対策技術の実証展示、立枯れ対策研修会及びハイブリッド仕立て研修会の開催により、立枯れにくい栽培管理を推進しており、目標は概ね達成見込み。
54	かき平均単価	円/kg	158	H27	165	199	121%	達成	170	207	122%	達成	175	R2	「大玉生産マニュアル」や「庄内柿産地活性化フォーラム」などにより、大玉生産の取組みが定着し、目標は達成。
55	日本なし平均単価	円/kg	214	H27	230	268	117%	達成	240	249	104%	達成	240	R2	大玉生産技術の普及や市場評価の高い品種の導入推進により、目標は達成。
②野菜															
56	えだまめ産出額	億円	30	H26	50	45	90%	概ね達成	51	未公表	—	—	52	R2	プロジェクトで取り組む高品質安定生産対策や鮮度保持対策に取り組み、単価が高く推移したことから、目標は概ね達成の見込み。
57	えだまめ単価	円/kg	478	H26	680	748	110%	達成	685	未公表	—	—	690	R2	プロジェクトで取り組む高品質安定生産対策や鮮度保持対策に取り組み、単価が高く推移したことから、目標は達成の見込み。
58	すいか産出額	億円	44	H26	55	62	113%	達成	56	未公表	—	—	58	R2	研修会等の開催により安定生産対策が図られた影響で生産量が多く、目標は達成の見込み。
59	すいか単価	円/kg	130	H26	150	191	127%	達成	155	未公表	—	—	160	R2	研修会等の開催により高品質生産が図られ、前年度よりも単価は低かったものの、高値で推移したため、目標は達成の見込み。
60	トマト産出額	億円	36	H26	39	45	115%	達成	40	未公表	—	—	43	R2	研修会等の開催により安定生産が図られ、前年度と同程度の単価ながらも生産量が増加し目標は達成の見込み。
61	トマト生産量	t	11,000	H26	11,500	10,200	89%	遅れ・未達成	11,800	11,300	96%	概ね達成	12,300	R2	研修会等の開催により安定生産が図られ、生産量が増加し目標を概ね達成。
62	土地利用型野菜(アスパラガス、にら、ねぎ)産出額	億円	41	H26	58	71	122%	達成	61	未公表	—	—	64	R2	プロジェクトで取り組む病害虫対策や作期拡大により生産量が増加し、単価は低かったものの目標は達成の見込み。
63	土地利用型野菜(アスパラガス、にら、ねぎ)作付面積	ha	991	H26	1,070	1,006	94%	概ね達成	1,090	1,002	92%	概ね達成	1,100	R2	高齢化による離農者も見られる中、大規模化のための情報提供や新規栽培者の栽培技術向上支援など、作付面積向上への誘導を図っており、目標を概ね達成。
64	メロン産出額	億円	29	H26	34	41	121%	達成	35	未公表	—	—	36	R2	プロジェクトで取り組む安定生産が定着し、前年度よりもやや低い単価ながらも生産量がやや増加し目標は達成の見込み。
65	メロン単価	円/kg	230	H26	245	373	152%	達成	250	未公表	—	—	255	R2	プロジェクトで取り組んでいる「庄内砂丘メロンの日」を中心とした販売戦略や、各JAの計画出荷が定着し、近年は高値で推移している。このため、前年度よりもやや低い単価であるが目標は達成の見込み。
66	きゅうり産出額	億円	35	H26	37	41	111%	達成	38	未公表	—	—	39	R2	高値だった前年度よりも単価は低かったものの、団地化された産地での出荷が本格化したことなどにより生産量が増加し、目標は達成の見込み。
67	地域特産野菜(セルリー、なす)産出額	億円	20.5	H26	24.0	23	96%	概ね達成	25.5	未公表	—	—	26.8	R2	プロジェクトで取り組む施肥技術改善や病害対策により生産量が増加し、単価は横ばいであったが産出額は増加したため、目標は概ね達成の見込み。
68	山形県に適応した次世代型施設の実証か所数	か所	0	H27	—	—	—	達成	—	—	—	達成	2	H29	園芸試験場と大蔵村に設置した次世代型施設園芸の実証拠点を活用した現地研修会を4回開催し、次世代型施設園芸の実証拠点の評価検証を実施するなど、目標は達成。
69	山形県に適応した次世代型施設園芸の拠点数	か所	0	H27	3	2	67%	遅れ・未達成	4	3	75%	遅れ・未達成	5	R2	研修会等の開催により生産者の意識啓発が図られ、ICT環境モニタリング装置と二酸化炭素施用装置が新たに導入され、山形県に適応した次世代型施設園芸の拠点が1か所増えたものの、3か所にとどまったため、目標は未達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
③花き															
70	露地花き(りんどう、さくら「啓翁桜」、ダリア等)の産出額	億円	6.5	H26	12	6.7	56%	遅れ・未達成	14	未公表	—	—	15	R2	りんどうやさくら「啓翁桜」では作付面積が年々増加しているものの、養成期間が必要なことから出荷量の大幅な増加には至らず、目標は未達成の見込み。
71	露地花き(りんどう、さくら「啓翁桜」、ダリア等)の作付面積	ha	259	H26	290	293	101%	達成	300	未公表	—	—	320	R2	団地化の支援やプロジェクトで取り組む省力化技術等によりりんどう、さくら「啓翁桜」では作付面積が増加しており、目標は達成の見込み。
72	施設花き(ばら、アルストロメリア、トルコギキョウ、ストック)産出額	億円	32	H26	36	31	86%	遅れ・未達成	37	未公表	—	—	38	R2	周年型施設花きでは新たな品目の導入や経営管理能力の向上による企業の経営を支援するとともに、施設花きでは、低コスト・省力生産技術や開花調節技術等の導入による安定生産を推進しているが、出荷量は昨年よりやや減少しており、目標は未達成の見込み。
④園芸産地の基盤強化															
73	新たな大規模集積園芸団地数	団地	—	—	10	12	120%	達成	15	17	113%	達成	20	R2	平成29年度から各総合支庁に園芸団地推進員を配置、取組地区ごとに園芸団地化支援チームを設置して支援を行い、令和元年度までに大規模園芸団地の整備に着手した地区は17地区となり、目標は達成。
74	高収益作物(園芸作物等)生産額	億円/年	10	H27	15	14.3	95%	概ね達成	17.5	18.4	105%	達成	20	R2	高収益作物(園芸作物等)への転換を後押しする排水機能向上や地下かんがい導入等の水田の畑地化・汎用化による園芸団地の整備を支援し、目標は達成。
75	園芸作物導入を加速化するための水田畑地化整備面積(累計)	ha	950	H27	1,550	2,327	150%	達成	1,750	2,580	147%	達成	2,800	R2	高収益作物(園芸作物等)への転換を後押しする排水機能向上や地下かんがい導入等の水田の畑地化・汎用化による基盤整備を支援し、目標は達成。
基本戦略4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進															
76	食料品製造業の製造品出荷額等	億円	3,011	H26	4,200	3,293	78%	遅れ・未達成	4,500	未公表	—	—	4,500	R2	やまがた食産業クラスター協議会におけるコーディネート活動や専門家の派遣により、県内食品製造業者等による商品開発・販路開拓を支援。H30実績で3,293億円(目標に対し78%)となっており、目標は下回る見込み。
①6次産業化															
77	産地直売所販売額	億円	93	H27	114	117.3	103%	達成	122	118.4	97%	概ね達成	130	R2	県内直売所の特徴や魅力のほか、伝統野菜を含めた県産農林水産物について積極的にPRを実施するとともに、直売所に対し、他県直売所との農産物等の販売交流事業への参加を働きかけ、目標は概ね達成。
78	農産加工所販売額	億円	30.5	H27	33	31.6	96%	概ね達成	34	36.7	108%	達成	35	R2	山形6次産業化サポートセンター等関係機関と連携し、農林漁業者の6次産業化の芽出しから事業化、商品化、販路拡大まで取組み段階に応じたきめ細かい助言、支援を実施し、目標は達成。
79	食品製造業等における県産農林水産物の使用割合(重量ベース)	%	38.3	H27	41.0	40.5	99%	概ね達成	42.0	40.7	97%	概ね達成	43.0	R2	県内産地・農林水産業と食品製造業者に関する情報収集・分析を行い、マッチングに向けた産地・企業情報のデータベースを構築し、マッチング機能を強化。目標は概ね達成。
80	全国の食料品製造業における本県の食料品製造業の製造品出荷額等の割合	%	1.2	H26	1.75	1.1	63%	遅れ・未達成	1.9	未公表	—	—	1.9	R2	やまがた食産業クラスター協議会におけるコーディネート活動や専門家の活動により、県内食品製造業者等による商品開発・販路開拓を支援。H30実績で1.1%(目標に対し63%)となっており、目標は下回る見込み。
81	市町村等における新たなアグリランド構想の策定数(H29からの累計)	か所	—	—	4	0	—	遅れ・未達成	4	1	25%	遅れ・未達成	8	R2	元気な地域づくり支援プロジェクトにおけるケーススタディにより、1地区のアグリランド構想がR1年度に策定されたものの、目標は未達成。別の1地区をケーススタディにおいて支援中。
82	市町村が参画する6次産業化ネットワーク数	件	26	H28	35	33	94%	概ね達成	—	—	—	概ね達成	35	H30	地域の6次産業化の推進状況や課題の把握、今後の展開方向等について共有するため、市町村担当者との意見交換を行い、6次産業化ネットワーク未形成の市町へのネットワーク形成の働きかけを実施。目標は概ね達成。
83	グリーン・ツーリズム交流人口	万人	949	H27	1,100	1,020	93%	概ね達成	1,150	1,050	91%	概ね達成	1,200	R2	農家民宿・農家レストラン等による担人材育成研修会等を実施し、地域の受け入れ態勢づくりを推進。目標は概ね達成。
84	農業総合研究センター加工施設を活用した新商品販売件数(累計)	件	—	—	10	3	30%	遅れ・未達成	20	34	170%	達成	40	R2	新商品開発や加工技術に関する相談を実施するとともに、加工技術や衛生管理等の研修会を開催し、食品加工支援ラボを活用した新商品開発件数が増加し、目標は達成。
②流通販売・食文化発信															
85	おいしい山形ホームページへのアクセス数(延べ閲覧者数)	件	3,178,776	H27	3,960,000	2,860,418	72%	遅れ・未達成	4,220,000	2,754,116	65%	遅れ・未達成	4,500,000	R2	SNSが普及したことにより、生産者や産直など個別の情報発信が増加し、閲覧者が分散していることもあり、目標は未達成。
86	多言語ホームページへのアクセス数(延べ閲覧者数)	件	12,000	H28(見込)	18,000	6,014	33%	遅れ・未達成	21,000	5,642	27%	遅れ・未達成	24,000	R2	ページの作り込みで費用と時間を要するため、適時の情報掲載が出来ないことから、目標は未達成。
87	東京都中央卸売市場における県産農産物の取扱金額割合	%	野菜:1.28	H27	1.35	1.28	95%	概ね達成	1.37	1.38	101%	概ね達成	野菜:1.40	R2	東京事務所に配置しているマッチング支援アドバイザー等による産地情報の提供、消費地情報の収集や、首都圏における商談会の開催等によるマッチング支援を行い、野菜は達成したが果実は未達成。全体としては、概ね達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
			果実:5.64	H27	5.73	5.22	91%		5.76	5.13	89%		果実:5.80	R2	
88	主要都市の中央卸売市場における県産農産物(野菜・果実)の取扱金額	百万円	5,562	H27	5,884	5,678	96%	概ね達成	5,992	5,072	85%	遅れ・未達成	6,100	R2	地方主要都市(札幌市、名古屋市、金沢市、広島市、福岡市)の中央卸売市場の販路開拓コーディネーターと連携した販路開拓やモデル店舗事業の展開、産地見学会の開催など生産地と消費地のマッチングを実施したが、目標は未達成。
89	東京都中央卸売市場におけるトップブランド品目数	品目	13	H26	16	14	88%	概ね達成	18	15	83%	概ね達成	20	R2	さくらんぼや「つや姫」などに続く「日本ブランド」の創生に向け、伝統野菜の評価・認知度向上や地理的表示(GI)の登録促進の取組みを展開し、目標は概ね達成。
90	地理的表示(GI)保護制度登録件数(県産農林水産物及びその加工品)(累計)	件	0	H28	3	4	133%	達成	4	4	100%	達成	5	R2	「山形ブランド」の創出・定着に向けた地理的表示保護制度の登録を促進するため、「GIワーキング会議」を開催し情報の共有を図るとともに、市町村やJA担当者等を対象とした「地理的表示(GI)保護制度セミナー」を開催し、目標は達成。
91	学校給食における県産農林水産物の使用割合	%	45	H27	51	45.1	88%	概ね達成	53	44.7	84%	遅れ・未達成	55	R2	「山形県米飯学校給食促進事業費」等により、各市町村の学校給食における県産農林水産物や郷土料理の提供等を支援。地産地消に対する取組みが浸透しているものの、天候不順等の理由により利用が低下し、目標達成に至らなかった。
92	県産農産物輸出货量	t	987	H27	1,100	1,507	137%	達成	1,200	1,650	138%	達成	1,300	R2	山形ブランドの認知度向上を図るため、山形県国際経済振興機構を核とし、新興市場として有望なASEAN諸国を中心に、県産果実等の販売プロモーションを実施するとともに、米国において県産米の販売プロモーションを実施し、目標は達成。
93	国別アクションプラン策定数(累計)	件	0	H27	5	6	120%	達成	7	8	114%	達成	8	R2	既存の国別輸出アクションプラン(シンガポール、EU、台湾等)を活用し、新規輸出取組者の掘り起しを実施。中国・香港のアクションプランを策定し、目標は達成。
③環境農業															
94	環境保全型農業直接支払交付金取組面積	ha	7,561	H27	9,500	6,271	66%	遅れ・未達成	10,200	6,254	61%	遅れ・未達成	11,000	R2	交付金取組面積は平成27年度以降横ばいとなり、平成30年度は複数取組廃止等、制度の変更により面積が減少。有機・特別栽培農産物認証取得の推進や、継続した産地・市町村への働きかけにより面積はやや持ち直し見込みであるが、目標は未達成
95	有機農業の取組面積	ha	696	H27	873	602	69%	遅れ・未達成	931	609	65%	遅れ・未達成	990	R2	有機農業の取組面積(交付金)は平成24年度をピークに横ばい。このため有機農業オープンフィールドによる農業者研修等による有機農業の取組み拡大や、大消費地での商談会出店支援など販路拡大の取組みを支援しているが、目標は未達成。
96	県産農産物の食品衛生法違反件数	件	0	H27	0	0	100%	達成	0	0	100%	達成	0	R2	農業適正使用チラシの配布及びやまがた農産物安全・安心取組認証制度における出荷前分析等により、収去検査による基準値超過は未発生。また、放射性物質の基準値超過も未発生であり、目標は達成。
97	「山形県版GAP」に取り組む農家割合	%	15.7	H28	40.0	35.0	88%	概ね達成	45.0	32.0	71%	遅れ・未達成	50.0	R2	やまがた農産物安全・安心取組認証制度において、県版GAPに取り組んでいるが、認証農家数が増加しなかったことから、目標は未達成。
98	国際水準GAP認証農場数	農場	33	H28	39	57	146%	達成	48	75	156%	達成	66	R2	H30年度県版GAP認証取得10団体を個別訪問し、国際水準GAP取得及び県版GAPの維持等の意向を聞きとるとともに、国際水準GAP認証取得に取り組む生産者に対する技術的支援・助言等の実施により、目標は達成。
基本戦略5 畜産業の競争力強化															
99	畜産による産出額	億円	447	H26	485	472	97%	概ね達成	495	未公表	—	—	500	R2	国庫及び県単独事業を活用して規模拡大のための施設整備や省力化・生産性向上のための機械導入を支援し、規模拡大が進んでおり、目標を概ね達成の見込み。
①畜産生産															
100	肉用牛産出額	億円	110	H26	134	122	91%	概ね達成	141	未公表	—	—	142	R2	本県肉用牛関係者が一堂に会した「令和元年度やまがたの和牛増頭振興大会」を開催し、更なる和牛増頭及び高品質な肉用牛生産のため、生産者や関係機関が一丸となって取り組んできた結果、目標を概ね達成の見込み。
101	繁殖雌牛頭数	頭	6,140	H27	6,940	7,220	104%	達成	7,250	7,690	106%	達成	7,500	R2	和牛子牛の増産を図るため、巡回指導や繁殖雌牛の増産を支援するとともに、ICT技術(分娩・発情予知通報システム)導入による生産性向上の実証や、更に和牛子牛増産に向け乳用牛への和牛受精卵の移植の実証などにより、目標を達成。
102	乳用牛産出額	億円	81	H26	89	87	98%	概ね達成	92	未公表	—	—	93	R2	国庫及び県単独事業を活用して規模拡大のための施設整備や省力化・生産性向上のための機械導入を支援している。酪農家の減少等で産出額の減少が見込まれるものの、目標は概ね達成の見込み。
103	経産牛1頭当たり生乳生産量	kg	7,254	H23~27	7,600	7,791	103%	達成	7,600	7,581	100%	達成	7,700	R2	牛群検定への支援等による県内乳用雌牛の能力が向上し概ね目標達成。
104	豚産出額	億円	128	H26	156	117	75%	遅れ・未達成	169	未公表	—	—	172	R2	品質の高い県産豚肉の生産拡大を図るため、畜舎等の生産基盤の整備支援、優秀な種雄豚の人工授精用精液を供給、山形県産豚肉銘柄推進協議会による販路の拡大を図ったが、飼育頭数の減少等により目標達成は遅れ気味。
105	豚枝肉上物率	%	46	H23~27	48	48.4	101%	達成	49	49	100%	達成	50	R2	高能力種豚の導入、生産性の向上、適性体重出荷等により上物率が上昇した結果、目標を達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
106	鶏産出額	億円	34	H26	41	33	80%	遅れ・未達成	41	未公表	—		42	R2	畜産クラスター事業(国庫)により、鶏肉加工施設の整備を支援するとともに、やまがた地鶏振興協議会等と連携し、各種イベントにおいてやまがた地鶏のPRを実施したが、一部の農場の廃業により飼育羽数が減少、し目標は未達成の見込み
107	やまがた地鶏飼養羽数	羽	16,000	H27	19,200	8,900	46%	遅れ・未達成	19,200	6200	32%	遅れ・未達成	20,000	R2	やまがた地鶏振興協議会との連携による各種イベントでのPRの実施や、販売店・食べられる店等でのパンフレット配布による情報発信を行ったが、飼育者及び飼育羽数の減少により、目標は未達成。
108	畜産農家等の新たな畜産加工食品の開発件数(H29～32の累計)	件	6	H27	6	6	100%	達成	9	9	100%	達成	12	R2	関係団体等との連携や県単独事業を活用した、新たな加工品開発を支援した結果、目標を達成。
②耕畜連携・自給飼料															
109	飼料作物の作付面積(飼料用米含む)	ha	10,333	H27	10,840	10,170	94%	遅れ・未達成	11,020	10,070	91%	遅れ・未達成	11,200	R2	国庫事業や県単事業により自給飼料生産・調製機械等の整備に対し支援するとともに、稲WCS等水田を活用した飼料の生産と利用を拡大するための研修会等を実施してきたが、目標は未達成。
110	県内飼料生産・利用のための耕畜連携組織数	組織	66	H27	71	71	100%	達成	73	71	97%	概ね達成	75	R2	畜産農家と耕種農家の連携を図るため、モデル組織を育成するとともに、稲WCSや子実用とうもろこしの栽培実証ほと給与実証農場を設け、効果について検討してきた結果、目標を概ね達成。
基本戦略6「やまがた森林ノミクス」の推進															
111	林業による産出額	億円	86	H26	132	126	95%	概ね達成	144	未公表	—		155	R2	川上対策として県産木材の安定供給・再造林の推進、川中対策として県産木材の加工流通体制の強化、川下対策として県産木材の率先利用を推進するなど、川上から川下まで総合的な対策を実施し、目標を概ね達成の見込み。
112	木材(素材)生産量	万m ³	36	H27	55	50.5	92%	概ね達成	57	53.5 【速報値】	94%	概ね達成	60	R2	川上対策として県産木材の安定供給・再造林の推進、川中対策として県産木材の加工流通体制の強化、川下対策として県産木材の率先利用を推進するなど、川上から川下まで総合的な対策を実施し、目標を概ね達成。
①人材育成															
113	林業の新規就業者数(4年間の累計)	人	222	H24～27	130	123	95%	概ね達成	200	189	95%	概ね達成	270	H29～R2	農林大学校林業経営学科で林業関係への就業を希望する学生に「緑の青年就業準備付金」を給付するとともに、林業への新規就業希望者を対象にした講習会や、就業ガイダンスを開催し、目標を概ね達成。
114	森林施業プランナーの数	人	28	H28	40	43	108%	達成	45	51	113%	達成	50	R2	森林施業プランナーを目指す林業事業者の職員等を対象に、施業の低コスト化や森林経営計画の作成方法など習得する研修会を開催し、目標を達成。
115	林業士数(指導林業士+青年林業士)	人	51	H28	61	65	107%	達成	66	71	108%	達成	71	R2	指導林業士及び青年林業士の養成研修を行い、目標を達成。
②木材生産・加工															
116	再造林率	%	33	H27	70	53	76%	遅れ・未達成	85	64	75%	遅れ・未達成	100	R2	「山形県再造林加速化対策会議」の開催や、関係事業者等を対象に、森林所有者に対して皆伐から再造林・保育まで一連の施業提案を行う手法等を学ぶ研修会を開催するなど普及啓発に努めたものの、所有者の理解が十分得られていない状況であり、目標は未達成。
117	再造林を支援する基金制度の創設	—	—	—	制度運用	制度運用	(達成)	達成	制度運用	制度運用	(達成)	達成	制度運用	R2	平成29年度に森林組合、木材生産事業者、原木市場、製材事業者からの協力を財源とした再造林を支援する基金制度を創設し、国・県の90%補助に加え、平成30年度から基金からの10%補助を実施し、目標を達成。
118	高性能林業機械保有台数	台	82	H26	138	154	112%	達成	143	未公表	—		150	R2	森林組合等事業者の素材生産体制の強化を図るため、事業者の高性能林業機械等の導入やレンタル経費を支援し、目標を達成の見込み。
119	林内路網整備	km	117	H27	143	117	82%	概ね達成	152	123	81%	概ね達成	152	R2	県・市町村による林道等、森林組合等による森林作業道の整備が進められており、目標を概ね達成。
120	森林管理認証の取得団体数(累計)	件	—	—	3	2	67%	遅れ・未達成	4	2	50%	遅れ・未達成	5	R2	選手村ビレッジプラザへの県産木材(森林管理認証材)の供給を実施し、森林管理認証制度の普及、PR活動を行ったが、認証材のニーズが伸び悩んでおり、目標を下回った。
121	JAS製品出荷量	千m ³	28	H27	76	77	101%	達成	82	78	95%	概ね達成	85	R2	「やまがたの木」認証材の品質の向上と、公共建築物などの建築部材として利用される県産製材品の生産促進及び供給体制を図るため、県内の製材所による、品質証明である製材JASの認定取得経費の支援を実施し、目標を概ね達成。
③木材利用															
122	公共施設の木造化率	%	66	H27	100	53	53%	遅れ・未達成	100	56	56%	遅れ・未達成	100	R2	公共施設の木造化の推進を図るため、公共施設等県産木材利用推進幹事会を開催したが、経済性や耐久性などの理由で非木造となるなど、目標は未達成。
123	民間施設(産業用建築物)の木造化率	%	43	H27	50	38	76%	遅れ・未達成	55	37	67%	遅れ・未達成	55	R2	県産木材を使用する店舗・事務所等の新築民間施設への補助金の交付や、県産木材を利用した特色ある民間施設の顕彰など、民間施設の木造化を推進したが、経済性や施工性などの理由で非木造となるなど、目標は未達成。

No.	目標指標	単位	現状	(年)	H30年				R1年				目標	(年)	R1年の概況 (達成・未達成の理由)
					目標	実績	達成率	達成度	目標	実績	達成率	達成度			
124	推進体制の設立	—	—	—	運営	運営	(達成)	達成	運営	運営	(達成)	達成	運営	R2	林工連携の推進体制として、平成29年度に「山形県林工連携コンソーシアム」を設立し、令和元年度に林工連携コンソーシアムの運営委員会並びに総会及び研修会を開催し、目標を達成。
125	林工連携による新製品開発件数(H29～32の累計)	件	—	—	3	6	200%	達成	5	7	140%	達成	7	R2	林工連携による新製品開発について、中小企業スーパーマーケット補助金(やまがた産業技術振興基金)による支援や、研究会等コンソーシアム事業や中小企業支援事業等により、新技術・製品の開発を促進し、目標を達成。
④特用林産															
126	山菜・きのこの産出額	億円	63	H26	71	63	89%	概ね達成	72	未公表	—	—	74	R2	山菜・きのこの生産振興を図るため、生産基盤整備の支援、生産者研修会、生産者への栽培技術指導等を実施するとともに、山菜・きのこ流通販売拡大を図るため、全国山菜サミット、きのこ料理コンクール等を開催し、概ね目標を達成の見込み。
基本戦略7 水産業のさらなる振興															
127	水産業による産出額	億円	35	H26	41.7	28	67%	遅れ・未達成	43.3	未公表	—	—	45	R2	海面漁業・養殖業では、H30に比べ、主力のイカを始め全般に漁獲量が減少しており、また、内水面漁業でも、外在魚等の被害などにより漁獲量が減少しているため、目標を下回る見込み。
①海面漁業															
128	漁業の新規就業者数(4年間の累計)	人	51	H24～27	30	11	37%	遅れ・未達成	50	19	38%	遅れ・未達成	70	H29～R2	新規漁業就業者の確保に向け、漁業研修生(給付型1名)の漁業研修や漁業研修に向けた体験漁業を実施し、新規漁業就業者総合支援事業で、独立就業の希望者2名に2隻の漁船取得支援を実施したが、目標は未達成。
129	トップランナー(漁業所得400万円以上の経営体)数	経営体	23	H27	33	19	58%	遅れ・未達成	38	25	66%	遅れ・未達成	43	R2	生産基盤となる漁船の取得(底びき1隻)、漁具等の整備(底びき8隻)を支援したが、漁獲量が減少しているため、目標は未達成。
130	漁業試験調査船「最上丸」新船建造	—	25年経過	H28	着工	着工	100%	達成	竣工	竣工	100%	達成	—	R1	新最上丸は、令和元年10月21日に竣工式を実施、10月から調査を開始し、目標を達成。
131	海面漁業・養殖業生産額	億円	24	H26	30	22	73%	遅れ・未達成	32	未公表	—	—	33	R2	海面漁業では、鮮度保持技術の開発等による高付加価値化や、「庄内おぼこサワラ」や「庄内北前ガニ」など観光と連携した庄内浜水産物のPRを実施してきたが、イカなどで漁獲量が減少しているため、目標は未達成の見込み。
132	水産物平均単価	円/kg	450	H27	530	557	105%	達成	560	未公表	—	—	590	R2	県内陸部飲食店でおおさかなキャンペーンを実施し、県内消費者に県水産物に対する評価向上を図るとともに、観光キャンペーンと連携してブランド魚(庄内北前ガニ、庄内おぼこサワラ、天然とらふぐ)のキャンペーンを実施したことにより、目標は概ね達成の見込み。
133	「庄内おぼこサワラ」の平均単価	円/kg	1,450	H27	1,780	2,040	115%	達成	1,890	1,677	89%	概ね達成	2,000	R2	庄内おぼこサワラの技術向上として、漁業者と水産研究所が連携して取り組むとともに、消費面では、庄内地区の飲食店に対して調理技術講習を行い、生産から消費に至る技術の向上を図っていることから、目標を概ね達成。
134	県内内陸部における庄内浜産水産物の流通比率	%	10.5	H25～28の平均	13.0	6.5	50%	遅れ・未達成	14.0	6.3	45%	遅れ・未達成	15.0	R2	認知度向上・消費拡大を図るため、内陸地域で庄内浜の水産物を積極的に扱う「やまがた庄内浜の魚応援店」等でプロモーションを実施したものの、スルメイカの不漁の影響で量販店での取扱いが減少したことにより、目標は未達成。
135	低利用魚の平均単価	円/kg	270	H27	310	271	87%	概ね達成	330	271	82%	概ね達成	350	R2	加工品開発としてラボの活用と地域活性化コーディネーターを配置し、漁業者による事業展開を支援や漁協直売所での積極的な販売、調理方法の紹介などしてきたことにより低利用魚の活用場面が広がったことにより、目標を概ね達成。
②内水面漁業															
136	内水面漁業生産額	億円	8.3	H26	8.7	6.2	71%	遅れ・未達成	9.0	未公表	—	—	9.2	R2	内水面漁業では、外来魚等の被害対策や、漁協組合員、遊漁者増加対策の支援等を実施するとともに、内水面養殖振興のため、ニジサクラのブランド化、普及のための取組みを実施してきたものの、目標は未達成の見込み。
137	県内水面漁協の遊漁証枚数(単協分)	枚	12,310	H27	15,000	9,754	65%	遅れ・未達成	16,000	11,031	69%	遅れ・未達成	17,000	R2	ダム上流域の新規アユ漁場を活用し、取り組み事例が少ないアユのルアー釣りの釣り教室を2か所で開催してきたものの、目標は未達成。
138	オリジナル大型ブランドマスの養殖取組民間生産者数	経営体	2	H28	4	5	125%	達成	5	5	100%	達成	5	R2	ニジサクラのブランド化のため、ブランド化検討会及び生産検討部会を実施し今後の方向性について話し合い、また、令和2年2月にはニジサクラのお披露目会を開催したことにより、生産者の取り組み意欲は高く、目標を達成。